

(マウスピース矯正) インビザライン と、ワイヤー矯正 の違い

インビザライン矯正



インビザライン矯正とは「アライナー」と呼ばれるオーダーメイドのマウスピース型矯正装置を歯並びの改善に合わせて付け替えるといった方法です。治療完了までに使用するアライナーの数は患者様の歯並びの状態によって異なるため、それにともない治療期間も左右されます

メリット

- ・透明のマウスピースなので、装置が目立たない
- ・矯正装置を自由に取り外すことが出来るため、衛生的。
- ・取り外しが可能な為、装置に食べ物が付着する心配もなく、歯磨きも今まで通りできる
- ・アライナーは約0.5mmの薄い素材のため、装着時の不快感や痛みがほとんどない

デメリット

- ・アライナーがはまりにくい歯の形をしていたり、計画に複雑な歯の動きがある場合、適用できない場合がある
- ・取り外しが可能とはいえ、一日に20時間以上装着していないと治療がスムーズに進まない可能性がある
- ・アライナーは薄くて軽く、且つ透明なため無くしやすい
- ・ワイヤー矯正に比べて料金が少し高い

インビザライン矯正は、人と対面して話す機会が多く、自己管理が得意な方におすすめできます。

ワイヤー矯正



ワイヤー矯正とは歯の表面に矯正装置を取り付け、そこにワイヤーを通してワイヤーの復元力を利用し、歯並びを改善させる方法です。ワイヤー矯正では、歯の表面に「ブラケット」と呼ばれる矯正装置を取り付け、その部分にワイヤーを通します。

メリット

- ・インビザライン矯正よりも全ての歯を大きく移動させるため、治療期間が短くなるケースが多い
- ・矯正器具の取り外しの必要がない
- ・100年以上の歴史を持つため、他の矯正方法に比べて圧倒的な実績を誇っている
- ・歯を締め付ける力が大きい為、ほとんど全ての歯並びに適用することが出来る
- ・インビザラインに比べると料金が少し安い

デメリット

- ・装置に付着して取れなくなる原因や、虫歯の原因になる粘度の高いものは、控えてもらう
- ・ワイヤーやブラケットが歯の表面に付いているため、矯正器具の周辺はゴミが溜まりやすくなります。歯を磨く際には3~4種類の専用歯ブラシを使う必要がある
- ・ワイヤー矯正の矯正器具は歯の表面に取り付けるため、器具の凸凹が口の中の粘膜や舌を傷つける恐れがある

ワイヤー矯正は実績のある治療を行いたい方、あまり見た目を気にせず、自己管理が苦手な方におすすめできます。



インビザラインとワイヤー矯正にはそれぞれにメリットとデメリットがあります。どちらが良いのか迷ったときには、ぜひ上記でご紹介した内容を参考に検討ください。

